



歌川広重 富士三十六景 東都佃沖

# 江戸の乗り物

江戸時代には、五街道が整備され交通や通信も発達し、人々の往来も盛んになりました。海や川では船がゆきかい、陸上では馬や牛などの動物が運送を担い、人々の移動手段として駕籠も活躍しました。  
本展示では、江戸の乗り物を描いた浮世絵39点を紹介します。

**入場無料**

令和5年(2023年) 7月15日(土) ~ 9月3日(日)

- ◆開館時間 9:00~19:00(火曜日、祝日は17:00まで)
- ◆休室日 月曜日(祝日の場合は翌日) 7月28日(金)、8月25日(金)
- ◆会場 はだの浮世絵ギャラリー(秦野市立図書館2階)  
住所 〒257-0015 秦野市平沢 94-1 (カルチャーパーク内)  
TEL 0463-81-7012
- ◆交通 小田急線秦野駅北口バス3番のりば《秦08系統》渋沢駅行き  
(日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車  
小田急線渋沢駅北口バス1番のりば《秦08系統》秦野駅行き  
(日立製作所/桜土手経由)「文化会館前」下車
- ◆主催 秦野市
- ◆問い合わせ 文化振興課(0463-86-6309)
- ◆ホームページ <https://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1645401452463/index.html> ⇒

◆ギャラリートーク(作品解説)のお知らせ◆

- 【日時】 7月21日(金)、8月4日(金)  
14:00~14:30
- 【会場】 図書館2階視聴覚室
- 【定員】 各日20名
- 【申込】 文化振興課へ電話  
(0463-86-6309)
- 【参加費】 無料





# 江戸の乗り物



はだの浮世絵ギャラリー  
令和5年(2023年)7月15日(土)~9月3日(日)



## 展示目録

No.	題名	作者名	制作年代
1	(洗い髪之女)	三代歌川豊国	弘化期(1844年~1848年)
2	三浦屋高尾	三代歌川豊国	嘉永期(1848年~1854年)
3	江戸自慢三十六興 両こく大花火	三代歌川豊国・二代歌川広重	文久4年7月(1864年)
4	山海愛度図会 十六 泉州 飯蛸 あとが聞たい	歌川国芳	嘉永5年8月(1852年)
5	山海愛度図会 二十三 飛弾 神通川鱒 これが着たい	歌川国芳	嘉永5年8月(1852年)
6	山海愛度図会 四十四 長門 かに おしやくがいたしたい	歌川国芳	嘉永5年12月(1852年)
7	江戸名勝図会 佃島	二代歌川広重	文久2年9月(1862年)
8	江戸名勝図会 佃島	二代歌川広重	文久2年9月(1862年)
9	江戸名勝図会 永代橋	二代歌川広重	文久2年閏8月(1862年)
10	江戸名勝図会 羽田弁天	二代歌川広重	文久2年9月(1862年)
11	名所江戸百景 日本橋江戸ばし	歌川広重	安政4年12月(1857年)
12	名所江戸百景 永代橋佃しま	歌川広重	安政4年2月(1857年)
13	富士三十六景 東都佃沖	歌川広重	安政5年4月(1858年)
14	江戸名所 永代橋佃嶋	歌川広重	天保11年~天保13年頃(1840年~1842年)
15	江戸名所 高輪月の夕部	歌川広重	弘化4年~嘉永1年頃(1847年~1848年)
16	東海道五十三次(隸書東海道) 二十九 見附 天龍川渡舟	歌川広重	嘉永4年(1851年)
17	東海道五十三次之内(行書東海道) 荒井	歌川広重	天保13年頃(1842年)
18	山海見立相撲 上総木更津	歌川広重	安政5年(1858年)
19	琉球八景 筍崖夕照	葛飾北斎	天保3年頃(1832年)
20	富嶽三十六景 江戸日本橋	葛飾北斎	天保2年~5年(1831年~1834年)
21	東都隅田川真洲崎之風景	昇亭北寿	天保期(1830年~1844年)
22	江戸名所道化尽 十九 大橋の三ツ股	歌川広景	安政6年7月(1859年)
23	江戸名所道化尽 十三 鎧のわたし七夕祭	歌川広景	安政6年4月(1859年)
24	観音靈験記 秩父順礼第七番 牛伏青苔山法長寺 花菌左衛門督長臣某	二代歌川広重・二代歌川国貞	安政6年(1859年)
25	観音靈験記 秩父順礼十五番 母巢山蔵福寺 湯尾峠の奇談	二代歌川広重・二代歌川国貞	安政6年5月(1859年)
26	諸国名所百景 奥州相馬妙見祭 馬追の図	二代歌川広重	安政6年10月(1859年)
27	諸国名所百景 下総成田山境内	二代歌川広重	安政6年(1859年)
28	東海道五十三次之内 吉原 左富士	歌川広重	天保4年~5年(1833年~1834年)
29	東海道五十三次之内 藤枝 人馬継立	歌川広重	天保4年~5年(1833年~1834年)
30	(源氏絵・行列図)	三代歌川豊国	嘉永期(1848年~1854年)
31	(若殿行列図)	三代歌川豊国	嘉永期(1848年~1854年)
32	東海道五十三次之内(行書東海道) 草津	歌川広重	天保13年頃(1842年)
33	東都名所 高輪之夕景	歌川広重	天保中期(1834年~1837年)
34	東都名所 高輪之図	歌川広重	天保11年~13年(1840年~1842年)
35	五代目市川海老蔵の本町つな五郎・尾上栄三郎の芸者小糸・尾上菊五郎のおまつり佐七	歌川国貞(三代歌川豊国)	天保11年1月(1840年)
36	浄瑠璃女辰駕 三代目岩井兼三郎の大和屋於久女・四代目中村芝翫の藤原雀成卿・六代目坂東三津五郎の大和屋お秀	二代歌川国貞	文久3年7月(1863年)
37	光氏大井川遊覧の図	落合芳幾	万延1年12月(1860年)
38	温故 東の花 旧正月元旦諸侯初登城ノ図	楊洲周延	明治21年12月(1888年)
39	千代田之御表 上野御成	楊洲周延	明治30年頃(1897年)